

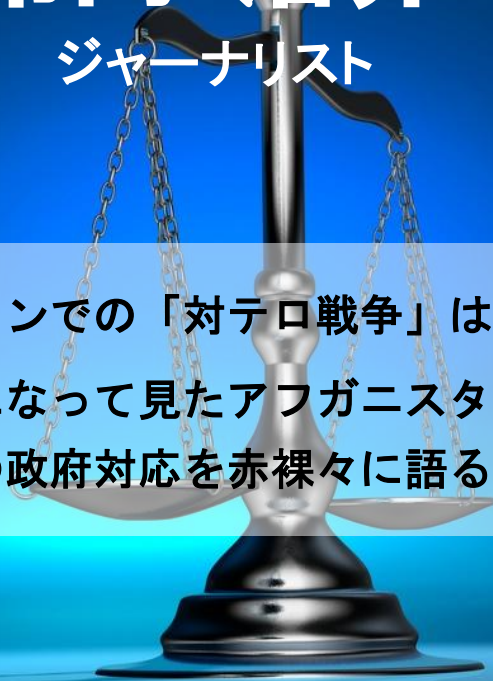
シリーズ「グローバル・ジャスティス」
第2回

人質がみた アフガニスタンの裏側

常岡 浩介
ジャーナリスト



アフガニスタンでの「対テロ戦争」は現実には崩壊状態だ。
自らが人質になって見たアフガニスタン、そして生還後の
米国、日本の政府対応を赤裸々に語る。



同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時： **11月8日** (月)

18:30-20:00

会場： **講武館 104**番教室

来聴歓迎・予約不要

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp